

# 回覧

前 政  
令和7年10月吉日

大胡地区のみなさま

前橋市長 小 川 晶  
(公印省略)

## 第2回堀越町地内建設発生土処分場跡地活用に係る住民説明会の結果報告及び 境共同トレーニングセンター現地見学会の開催について（通知）

日頃より本市の市政運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、先に実施した住民説明会では多くの市民の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。本市では堀越町地内建設発生土処分場跡地活用にあたり、引き続き住民の皆様にとってより良い用地活用の実現に向けて、本事業計画についてご意見いただきたいと考えております。

そこで、先に行われた第2回住民説明会の結果報告と下記のとおり境共同トレーニングセンターの現地見学会を開催いたしたくご案内申し上げます。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

(未来創造部政策推進課)

### 記

- 1 令和7年8月24日開催の第2回住民説明会の結果報告について
  - (1) 配布資料
    - ①次第
    - ②堀越町地内建設発生土処分場事業及び跡地活用について
    - ③当日のスライド資料（一部抜粋）
  - (2) ご意見ご質問等（重複する質問については抜粋）

裏面へ

## 2 境共同トレーニングセンター（競走馬育成施設）現地見学会の開催について

### （１）実施日時

第１回：令和７年１１月１２日（水）※バスによる送迎はありません

午前８時００分 各自現地集合

午前９時３０分 現地にて解散

第２回：令和７年１１月１５日（土）※大型バスにて送迎があります

午前７時００分 大胡公民館集合（河原浜町４８０）

午前７時１５分 出発（大型バスにて）

午前８時００分 現地到着

午前９時３０分 現地出発

午前１０時頃 大胡公民館到着（予定）

**※必ず大胡公民館南側砂利駐車場へ駐車してください**

### （２）見学場所

境共同トレーニングセンター（伊勢崎市境上湊名 739 番地）

### （３）申込方法および申込期限

申込方法：電話またはインターネットどちらから申込ください

①電話申し込みの場合：【問い合わせ先】へ連絡

②インターネット申し込みの場合：以下の QR コードから必要事項を入力



申込期限：令和７年１０月３１日（金）１７時まで

※インターネット申し込みの場合、同日中の申込有効

※申し込み多数の場合、日程調整

### （４）見学会概要

①境共同トレーニングセンター（競走馬育成）の施設概要等の説明

②質疑応答等

※資料は当日配布いたします

#### 【問い合わせ先】

・見学会及び事業全体に関すること

前橋市未来創造部政策推進課 大島・高橋

電話 ０２７－８９８－６００３

# 堀越町建設発生土処分場事業及び跡地利用に関する住民説明会 次 第

令和7年8月24日(日)10時 開会

場所:大胡公民館別館2階ホール

## 1 挨拶(契約監理課長)

## 2 堀越町地内建設発生土処分場事業および跡地活用について

(1)前回説明会での質疑に関する回答について

(2)建設発生土処分場事業の経過と残土搬入の終了に向けて

(3)境共同トレーニングセンター(競走馬育成)構想及び計画内容について

## 3 質疑応答



# 堀越町地内建設発生土処分場事業及び跡地活用について

2025 年 8 月 24 日

契約監理課・政策推進課

## 1. 前回の説明会において保留となった質疑について

(質問) 公園整備から方針変更を行い、境共同トレーニングセンター(株)(以下境トレセン)を優先交渉者とした経緯を説明してほしい。

(回答) 当初公園整備を想定していた堀越残土処分場跡地について、財政的制約から民間活力導入の検討を行っていたところ、境トレセン側から土地利用の打診があり、民間活用への方針転換を行いました。

事業実績のある境トレセンを優先交渉者とすることで、早期の環境改善と地域振興の両立を図る考えです。

(以下、方針変更に関する主な経緯)

### 【2020年】

- 12月 前橋市(公園緑地課)が自治会連合会に対し公園整備の今後の進め方について説明
- ・盛土完了の目途が立ったので、今後の方向性を事業完了までに決めたい
  - ・市では他の大規模公園を整備しており、財政的な理由からそれらの整備が完了してからでないと事業着手は難しい
  - ・民間活力の導入を検討している

### 【2022年】

- 7月 境トレセンから当該用地への問い合わせ
- ・群馬県から境トレセンに対し工業団地造成を理由に他の土地に移転するよう指示
  - ・上記の状況の中で堀越残土処分場を知り、事業継続に適切な土地と判断

### 【2023年】

- 9月 跡地利用の方針変更の検討について地元自治会へ説明
- ・方針変更の検討について反対意見等は無し

### 【2024年】

- 4月 境トレセンから土地貸与等に関する要望書の提出
- ・競走馬の育成と共に地域振興や観光振興に寄与したいと考えている
- 10月 境トレセンを優先交渉者とする市長方針決定
- ・公共による整備維持では、財政的及び時間的に早期の整備が困難と判断
  - ・民間事業に賃貸することで財源の確保が可能
  - ・事業実績のある境トレセンとすることで事業の継続と早期実現を図る

(質問) 臭気の測定などはないのか

(回答) 臭気指数は機器でも測定されていますが、機器と人の感じ方に差があるため、人の嗅覚による「嗅覚測定法」が一般的となっています。※群馬県ホームページより

# 堀越町地内建設発生土処分場事業及び跡地活用について

2025 年 8 月 24 日

契約監理課・政策推進課

## 2. 建設発生土処分場事業の経過と残土搬入の終了に向けて

○今後の予定について

2025 年 9 月末 残土の搬入終了（予定）

2025 年 10 月以降 群馬県による確定測量、雑工事实施

2025 年度中 群馬県から前橋市へ用地の返還

※現時点での予定であり、変更等の可能性があります

## 3. 跡地活用について（境共同トレーニングセンター（競走馬育成）構想及び計画内容）

（1）境共同トレーニングセンターの事業概要

（2）事業計画（構想図等）

（3）今後のスケジュールについて

※別紙参照

## 4. 前橋市からのお願い

現時点でお示しした構想等に関してのご意見や要望がありましたら、前橋市政策推進課 大島・高橋（Tel898-6003）までお問い合わせください。

# 堀越町地内建設発生土処分場事業及び 跡地活用に関する住民説明会

令和7年8月24日  
大胡公民館 別館2階ホール



## 1. 前回説明会での質疑に関する回答について

前橋市契約監理課・政策推進課



## 前回説明会での質疑に関する回答

①境共同トレーニングセンターを優先交渉者とした経緯について

②臭気測定について



## 3. 跡地活用について

(境共同トレーニングセンター(競走馬育成)構想及び計画内容)

境共同トレーニングセンター株式会社



## 境共同トレーニングセンター 概要

- 境共同トレーニングセンターは伊勢崎市境上湊名にある競走馬のトレーニング施設です。主に競走馬の飼育、訓練を行っております。
- 旧高崎競馬のトレーニング施設として使用されていましたが、現在ではJRAや南関東公営競馬などの馬を預かりトレーニングを行い競馬場に送り込むという事業を行っております。



## 事業内容

- 各事業所(6社)に対して境共同トレーニングセンターとして馬房やトレーニング施設を貸出し管理している会社です。
- 一日のスケジュールは次ページ参照



# 1日のスケジュール

時間	内容
午前2時から4時	トレーニング開始
午前8時から11時	トレーニング終了
概ね午前中	厩舎作業および調教
午後2時から4時	厩舎作業および獣医師による治療

※季節や各事業者により若干の変動あり



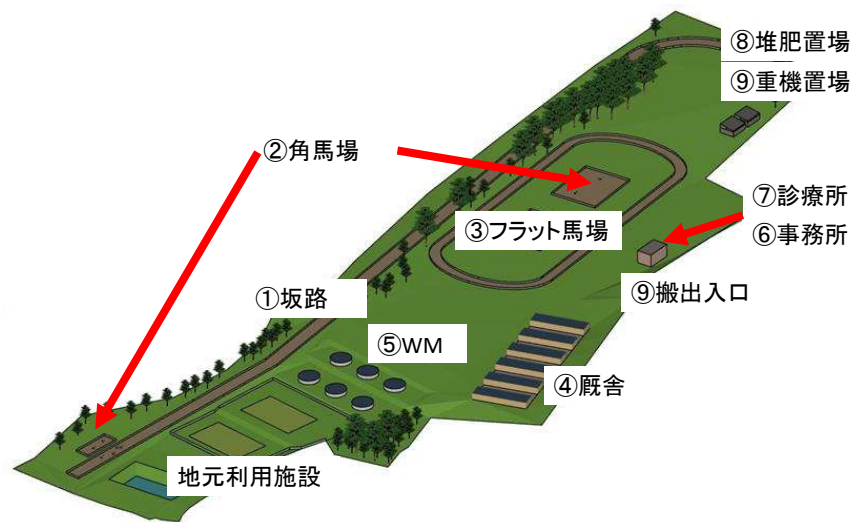
## 事業計画

- 坂路コース(800M)
- 角馬場(間隔なく坂路コースに入ると危険なので順番待ちの待機場所)
- フラット馬場(500M)、200M馬場及びロンギ場(フラット馬場の中)
- 厩舎40馬房×3棟または24馬房×5棟(計120頭収納予定)
- ウォーキングマシン(WM)
- 事務所
- 診療所・獣医室
- 堆肥場
- 重機置場
- 駐車場

※具体的な計画図(案)や配置等は次ページ参照



## 計画図(イメージ)



## 主な施設のイメージ

①坂路(雨および砂埃対策として屋根の敷設も検討)



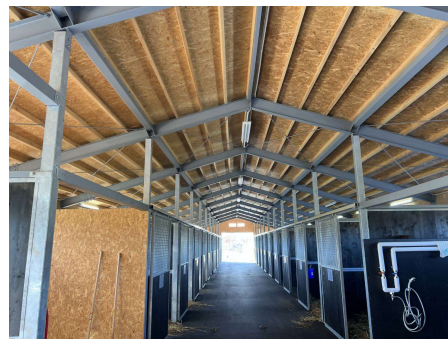
## 主な施設のイメージ

### ③フラット馬場



## 主な施設のイメージ

### ④厩舎



## 主な施設のイメージ

### ⑥WM(ウォーキングマシン)



## 主な施設のイメージ

### ⑦診療所・獣医室



## 主な施設のイメージ

⑧堆肥置場



⑨重機置場



## 地元利用施設として

- 多目的芝生広場(砂塵対策的側面も含む)
- 遊歩道(北東遊歩道を活用し延長)
- その他、地元意見を含め検討



## 今後のスケジュール(予定)

- 令和7年度  
住民説明会を数回実施
- 令和8年度  
事業計画の決定及び各種申請等
- 令和9年度  
最短の場合、工事着工

※地元との意見交換や配慮を行いながら進めていきます



## 今後事業を進めるにあたり

- ・計画策定段階では地元の意見を取り入れながら進めます
- ・計画策定段階においては忌憚のない意見をいただければと思います
- ・今後も地元へ随時進捗や情報共有を行います





# 堀越町地内建設発生土処分場事業及び跡地活用に関する第2回住民説明会 質疑応答

令和7年8月24日

## Q1 臭気等について

住民⑨) 事業用地周辺に牛と豚と鶏の建物があります。既にかかなり臭いがする状況ですがそこに新たにトレセン（馬）を誘致しようとする考えが理解できません。

市) 周辺にそのような畜産業があることは理解しています。トレセンは生き物を飼育する施設であるため、当然、臭いの配慮は必要だと考えています。新たにトレセンが来ることで、法令上の悪臭基準を上回るということは現時点ではない認識です。現状、伊勢崎市にある施設の周辺では多くのトラブルは起きていませんが、地域に受け入れていただく工夫・努力をしていきます。

住民⑨) 施設のイメージ図上の堆肥場の位置やイメージ写真を見ましたが、臭いが抑えられるものなのでしょうか。堆肥場を事業用地外の別の場所に持っていくことはできるのでしょうか。

市) イメージ図上では事業用地の北側に堆肥場を配置していますが臭いも堆肥場からの距離によって変わると考えています。広い敷地の中で、臭気的な配慮が必要な距離等を住民の皆さんと協議していきたいと思います。

また、堆肥場を事業用地外へ持っていくご提案は受け止めさせていただきトレセンと協議をさせていただきます。ただ、日常的に競走馬が100頭前後飼育することから堆肥場を全く設けないことは難しいと考えており置き場や管理方法で工夫を出来ればと考えています。

## Q2 過去の周知、トレセンの規模、臭い、音等についての疑問

住民⑨) このような会があることを知人から聞いて知りました。計画されている土地から600mほど離れたところに住んでいますが、回覧が回ってきてもピンときていないことが問題だと感じました。ただ、ネガティブな気持ちだけではなく、トレセンのような施設が近くに来ることにワクワクする部分もありますが、知る権利や関与する権利、近隣の思いも知ってもらいたいと考え参加させていただきました。

何点か質問させていただきます。初めに現在伊勢崎市にある境トレセンに比べ、計画されている敷地は3分の1ほどの規模であり窪地ですが、馬たちにとって十分な敷地でありいい条件なのでしょうか。次に境のトレセンの周辺には住宅があまりないようですが、今のところ苦情はないから問題がないという話は堀越町とは比較対象にはならないと考えます。住民の皆さんの不安に感じる部分を実際に境トレセンで見学する機会（見学会）を設けていただくことは可能でしょうか。また、調べたところハエは5km先まで飛び、朝の2時から馬が走るとすれば地響きや臭いもあるのではないのでしょうか。一方で馬が走っている姿を子供たちが見たり、休憩場所ができたりと素敵な場所になる可能性もありますが、懸念点は解消した方が良くと考えます。

最後に、境トレセンは移転にあたって他の場所を検討されているのでしょうか。今の場所で何を一番のメリットと感じているのでしょうか。

# 堀越町地内建設発生土処分場事業及び跡地活用に関する第2回住民説明会 質疑応答

令和7年8月24日

市) これまでの情報提供について不足していた部分があったことについては大変申し訳なく考えています。現場を見ながら話し合いをするべきではないかというご提案は大変ありがたく考えています。市としても住民の皆様にもトレセンを実際に見学いただき不安を小さくできる工夫と一緒に考えていきたいです。矢沼社長も見学について前向きであり実施に向けて受け止めさせていただきます。

トレセン) 現在の境トレセンの面積は26ヘクタールですが、使用していない部分も多くあり、実際に使用している部分は大胡に計画している規模と変わらない面積になります。

大胡にトレセンを整備するメリットとしては、自然な傾斜を活用し景観を崩さず坂路を整備することができるということです。公園要素についてはどこまで実現できるかわかりませんができる限り地域の皆様に寄り添いたいと考えています。子どもたちや地域の方向けに競走馬が走る場所を高台から見下ろせるような場所があっても良いと考えています。

他候補地については、群馬県の農政課へ相談し3,4年前から模索していましたが適地がない状況でした。その中で、大胡の堀越町の話をしていただいた経緯です。

住民②) 近隣住民にとっては臭いや音の問題などこれまでに無いものが来るのは不安ではありますが、家族と馬を見に来ることができたり、一休みできる場所ができたりと前橋にとっての一つの宝になってほしいと思っています。住民にとってポジティブな部分やメリットが出てくれば不安も改善すると考えます。住民が知る前に報道されたことで不安が先に来てしまった状況ですので今後も地域の話し合いの場を設けていただければと思います。

## Q3 県の工業団地造成時期等について

住民③) 経過を見ると2022年7月に群馬県から工業団地造成を理由に他の土地に移転するよう指示があったとのことですが工業団地造成は何年後なのでしょう。

また、旧高崎競馬のトレセンとして使用されていたとのことだが宇都宮競馬も使用していたのではないのでしょうか。また、育成する競走馬は南関東の競馬場で走る馬であるため、現状の伊勢崎市より北にトレセンが来る必要はないと考えます。最後に大胡にトレセンが来たとすると従業員の方は通勤されるのでしょうか。

市) 工業団地造成についてはなるべく早くという状況で、具体的な年数は不明です。

トレセン) 初めに訂正させていただきますが高崎競馬は群馬県だけの競馬場で宇都宮や足利と交流という形はありますが基本的に別の馬が来ることはできないため宇都宮とは別に考えていただければと思います。また、従業員については今のところ通勤を想定しています。

住民④) 資料図面ではウォーキングマシンが6機だが説明では4機と説明がありましたがどちらでしょうか。

市) まだイメージ図であるため次回はもう少し詳細な図面をご用意したいと思います。